

6 June



まちづくり通信

発行 飛騨高山まちづくり本舗
住所 〒506-0845
高山市上二之町 44-4
電話&FAX 0577-33-5282
hompotakayamashishouren.net

まちの話題いろいろ ドリーミンオフィシャルサイト ★<http://www.takayamashishouren.net/d/>

すずやかに風通れ まちに吹きわたれ 暑中お見舞い申し上げます

『地球のステージ』ニュース

合併記念 巡回ステージが スタートしました

市町村合併から4ヶ月がたちました。日本一大きい市の実感はまだ感じられませんが、桑山さんのメッセージは、歌声と映像にのせて5日間で7つの地域に放たれます。

最終公演の望郷編では、中高生の飛騨から世界へむけたメッセージが紹介されます。世代や地域の枠を楽々とこえることのできる「地球のステージ」を共通の話題に連日仲間が増えていきます。

- 6/29 夜:北稜中
- 6/30 夜:荘川中
- 7/1 夜:丹生川文化ホール
- 7/2 昼:燦燦朝日館 夜:一之宮町公民館
- 7/3 昼:国府公民館 夜:高山市民文化会館

※高山会場の整理券は終了。他地区へどうぞ。
※朝日町、一之宮町会場は託児があります。
問合せ:0577-35-3130(飛騨高山国際協会)

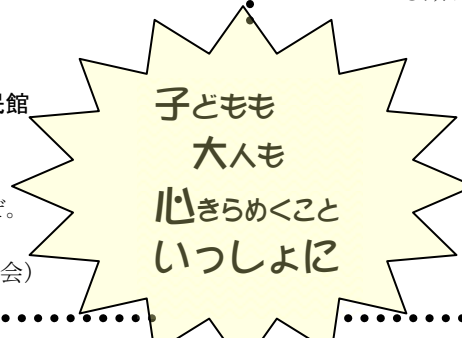
今回は『こども』がキーワードの納涼夜市

= りんくるりんみんなで縁日 '05 =

市民が自ら楽しみ憩うまちの鼓動がひろがって、大きな響き合いの空間をかもしはじめました。店を出す人、踊る人、そこを往きすぎる人、子どもも大人も若者も、ただその場を共有しあうことでエンターテイナーとなる、まるで魔法がかかったような納涼縁日の夜。人々のエネルギーがまちのエネルギーに、まちのエネルギーが人々にまた還っていくのが心地いい。

ただ今、出店参加者募集中！申し込み用紙を配信中です

- 期日:8月1日(月)2日(火)午後6時半～9時半頃
- 会場:本町3丁目および周辺
- 主催:りんくるりん納涼縁日05実行委員会
- 呼びかけ人:本町3丁目商店街
飛騨高山まちづくり本舗
駄菓子屋ぶろじゅくと〇〇(まんまる)や
- 締切り:7月8日(金)
- 問合せ:まちづくり本舗
- 0577-33-5282(FAX兼) (13時～17時)
用紙はFAXでもお送りします。



戦後60年の礎

朗読劇「この子たちの夏 1945・ヒロシマナガサキ」

十年前の高山公演を見たのは大人だけでなく幼い子どももいました。小学生や中学生になった子どもたちと戦争体験を伝える公演を追体験して、あの夏の一日を思い起こそう。

- 7月14日(木)開場午後6時 開演7時 高山市民文化会館
- 一般2000円(当日+200円)小中高生1500円(当日+200円)
- 問合せ 生活協同組合コープぎふ飛騨支所 0120-39-8665

※チケットは、まちづくり本舗でも取り扱い中！

商店街に手習所が開設

= 夏休み寺子屋かんかかん =

畳に床の間、文机というたたずまいはまちなかであることを忘れる雰囲気。この夏はここで、手仕事、手技、あそびの伝承等をテーマに、小学生が高校生や大人と寺子屋を体験します。只今企画中のため詳細はお問合せ下さい。

アートまち探険の参加の小学生→



- 救援衣料活動 7月3日(日)午前中 富山建材敷地内〔西之一色町〕
水谷さん 0577-32-6409
※衣類持ち込み、箱詰め、運搬、運賃募金など、30分程の手伝いも大歓迎

- グリーンケアの集い『今日から明日の私のために～天からのおくりもの～』
7月24日(日)午後1時半～4時 高山市役所地下市民ホール
ひだまりの会 0577-35-5676 参加無料
※グリーンケア(遺された者たちの集い)部会が発足します。

ご不要の手押しポンプは ありませんか？

準備中の飛騨の棚田楽校交流施設凸凹館でカマド開きをしました。次は井戸に設置できる手押しポンプがあればと探しています。！

090-7040-7428 中屋榮一郎さん(滝町)まで

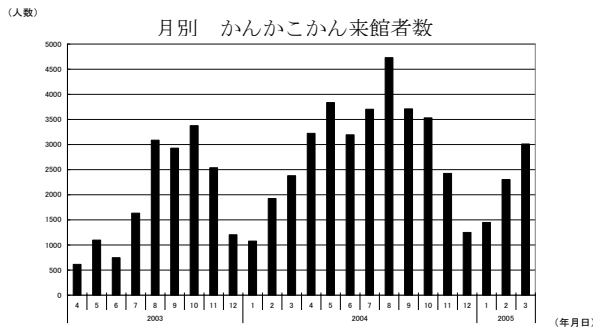


「まちひとづら座かんかこかん」は3年目

来館者数 2003年度 22,591人⇒ 2004年度 36,354人(61%↑)
1日平均 2003年度 66人 ⇒ 2004年度 101人(35人↑)

だれもが気軽に「まちの縁側」のように立ち寄れるコミュニティ施設として2003年4月にオープン、高山市商店街振興組合連合会、市民、高山市が協働で運営に取り組んでいます。

3年目を迎え、来館者は2005年3月末現在でのべ58,945人(開店日702日)で1日平均84人となっています。特に、2003年度22,591人、2004年度36,354人(61%↑)、1日平均2003年度66人、2004年度101人(35人↑)と2年目大きく伸びました。かんかこかんは1Fの「こどもひろば」「情報ひろば」と2Fの「まちづくりひろば」からなりますが、それぞれ1年目と比べ1日来館者は「こどもひろば」(60%↑)、「情報ひろば」(68%↑)、「まちづくりひろば」(13%↓)となっています。



開館当初と比べ、市民のなかにも、かんかこかんを知る人が増え、地域に浸透してきたといえます。毎日遊びに来る小学生、おもちゃ遊びや会話を楽しみに訪れる親子、おむつ替えに利用する観光客、おすすめの店をたずねる観光客、夜に行われる市民活動の会議など、地域に根付き、市民や観光客が気軽に立ち寄れる文字通りめざす「まちの縁側」となりつつあります。

今後は、自主事業等を積極的に、他の施設や運営方法とはひと味違う特徴付けをするとともに自主財源の確保に取り組むことが課題といえます。

教えて協子さん その② 協働のまちづくりで 欠かせないことは？

「和・輪・環」の和

まちづくり本舗編集ハンドブック
『地域暮らし読本、協働のまちづくりのしくみづくり』より抜粋

協働のまちづくりといっても誰とでもどのような形ででも取り組むことは可能なのでしょうか。突然、やりたいことが同じだからと進めていてもやはり不安を感じてしまいます。(互いに歩みあえるのか不安な市民Bさん)

●協働のまちづくりの前提要件その1

協働以前にまちづくりにとって大切なことがあると思います。ひとりひとりの健全な思いがあり、その思いがひととひととの関係を持ち地域とのつながりにまで広がっていく姿です。ここでは、その関係を「こころを育む(和)」と「ひととひととの関係を育む(輪)」と「地域とひととの関係を育む(環)」と表現してみます。協働のまちづくりを進めるとき、各々が(和)、(輪)、(環)のどの段階として関わりをもっているかの共通認識は必要だと思えます。そして、その基本は「こころを育む(和)」であり、(和)がしっかりしたものであればあるほど協働のまちづくりがしくみへとつながるものと考えます。

新コーナー登場

勝手に街角トマソン①

■無用階段■

採集場所 江名子川沿い京やの壁

この階段は役目を終え、檻の中へ入れられた。埋めるわけでもなく、さらし者状態で不憫である。(の)

トマソン：建築物に付着して、美しく保存されている無用の長物。「老人力」の著者、赤瀬川原平氏の提唱する超芸術の意。



これからの会議は「た・か・や・ま・し・き」

楽しい会議の進め方講座<1/3回>「いけてる議長」編
5月24日/45名/かんかこかん2階

こんな会議は嫌だ→ダメ会議と、こんな会議ならいいな→イイ会議をグループごとに書き出して、会議の問題点を解消し、より満足できる会議にするための議長のあり方を探りました。各グループの発表内容は、三矢氏が大きな紙にカラフルなペン使いでまとめられ、全員が紙面で情報を共有しました。

嫌な会議が、ただだらどうどう廻り、根回し型、特定の人のひきまわし、データ者の単調な説明、沈黙、批判終始型などのパターンに対し、イイ会議の要素はこの6つ。

- 1、平らかな関係で (関係づくり)
- 2、固い雰囲気をユーモアで
- 3、柔らかく、批判をうけとめて、違いを認め合う
- 4、前もってテーマのすすめかたをわかりあう(段取り)
- 5、自然な意思の流れでより創造的提案へ
- 6、きついトラブルをエネルギーにかえるやさしさを鍛える

いけてる議長とは、「参加者間のココロを通わせ、アタマでわかりあう関係づくりを支える志縁(支援)者」、ファシリテーターマインドをもった新しいタイプの議長像がうかびあがります。

延藤氏は、この1~6の頭文字を「た・か・や・ま・し・き」とあげてポイントをわかりやすくまとめられました。<つづく>

★3回目は7月12日(火)「頼れる舵取り役編」

学習会◇Dr. 亀山のアレルギー講演会

□7月7日(木) 10時~12時かんかこかん二階和室
参加費：100円(会場費)

※託児(1時間1000円)の申し込みは
0577-33-5055 こどもひろばへ

かんかこかん★News

*夏休み前は いかのおすしですよ

こどもの連れ去り防止ソング『いかのおすし♪』のCDを取り扱っています。二十四日市でライブを耳にした子がすぐに覚えてしまうほど親しみやすい。家庭はもちろん、夏休み前の園や学校でぜひご活用ください。在庫8枚。全3曲とカラオケ入りで特価1200円。関連HPあり。



*高校生ボランティア募集!

「夏休み寺子屋かんかこかん」を開催予定です。手しごと・手わざ、あそびの伝承をテーマにした小学生向けのプログラムです。高校生のボランティアを募集中です。

まちひとづら座かんかこかん 0577-33-5055